

第23回

The 23rd Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association

日本神経精神医学会 学術集会

プログラム・抄録集

脳の不思議を語り合おう!

会期 2018年10月6日(土)・7日(日)

会場 松江テルサ
〒690-0003 松江市朝日町478-18 (JR松江駅前)

会長 堀口 淳
島根大学医学部免疫精神神経学共同研究講座

副会長 林田 麻衣子
島根大学医学部精神医学講座

第23回 The 23rd Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association

日本神経精神医学会 学術集会

プログラム・抄録集

脳の不思議を語り合おう!

会期 2018年10月6日(土)・7日(日)

会場 松江テルサ
〒690-0003 松江市朝日町 478-18 (JR 松江駅前)

会長 堀口 淳
島根大学医学部免疫精神神経学共同研究講座

副会長 林田 麻衣子
島根大学医学部精神医学講座

■第23回 日本神経精神医学会学術集会 事務局
島根大学医学部精神医学講座 事務局長：長濱 道治
〒693-8501 出雲市塩冶町89-1
TEL: 0853-20-2262 FAX: 0853-20-2260

■運営事務局
有限会社 アクティブ・プロ
〒683-0851 米子市夜見町1895-3
TEL: 0859-48-0700 FAX: 0859-48-0600
E-mail: jna23@act-p.net

日本神経精神医学会 歴代会長〈開催地〉

第1回(1996年)	小阪 憲司(横浜市立大学医学部精神医学教室)	横浜
第2回(1997年)	佐藤 甫夫(千葉大学医学部精神医学教室)	千葉
第3回(1998年)	武田 雅俊(大阪大学医学部精神医学教室)	大阪
第4回(1999年)	浅井 昌弘(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)	東京
第5回(2000年)	三好 功峰(兵庫県立高齢者脳機能研究センター) —第3回国際神経精神医学会合同開催—	京都
第6回(2001年)	三山 吉夫(宮崎医科大学精神医学教室)	宮崎
第7回(2002年)	遠藤 俊吉(日本医科大学精神医学教室)	東京
第8回(2003年)	田邊 敬貴(愛媛大学医学部神経精神医学教室)	愛媛
第9回(2004年)	前田 潔(神戸大学大学院医学系研究科精神神経科学)	神戸
第10回(2005年)	加藤 進昌(東京大学大学院医学系研究科臨床精神神経科学)	東京
第11回(2006年)	守田 嘉男(兵庫医科大学精神科神経科学教室)	神戸
第12回(2007年)	岩田 誠(東京女子医科大学神経内科)	東京
第13回(2008年)	地引 逸亀(金沢医科大学精神神経科学)	金沢
第14回(2009年)	森 悦朗(東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学)	仙台
第15回(2010年)	新井 平伊(順天堂大学医学部精神医学教室)	東京
第16回(2011年)	大東 祥孝(京都大学・名誉教授/周行会湖南病院・顧問) 村井 俊哉(京都大学大学院医学系研究科精神医学)	京都
第17回(2012年)	河村 満(昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門)	東京
第18回(2013年)	米田 博(大阪医科大学総合医学講座神経精神医学教室)	大阪
第19回(2014年)	朝田 隆(筑波大学臨床医学系精神医学)	茨城
第20回(2015年)	山田 正仁(金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(神経内科学))	石川
第21回(2016年)	池田 学(大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室/熊本大学)	熊本
第22回(2017年)	一宮 洋介(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)	東京

日本神経精神医学会 事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F

TEL: 03-5206-7431 FAX: 03-5206-7757

第23回日本神経精神医学会学術集会

ご 挨拶

第23回 日本神経精神医学会学術集会

会 長 堀口 淳 島根大学医学部
免疫精神神経学共同研究講座

いよいよ、第23回日本神経精神医学会が始まります。平成30年10月6日(土)と7日(日)の両日、鳥根県松江市の松江テルサにての開催です。今回も、例年と同様に第19回日本早期認知症学会との合同開催であります。

今回の本会のテーマは「脳の不思議を語り合おう！」とさせていただきました。認知症をはじめ、様々な精神神経疾患の日常診療では、皆様も悪戦苦闘の毎日であろうと拝察致します。

「脳の仕組み」を明らかにするためには、これからも大変な努力が必要であります。未解明な難題が山積しております。医学を武器にして医療を実践している以上、研究は欠かせません。従いまして、現在の実臨床では神経学や精神医学などの立場から、症例を重視した勉強会で、みんなの知恵を結集しなければなりません。

本学会では、日頃の日常診療で疑問を感じている事象について、最先端のエキスパートの先生方から、様々な「脳の不思議」に対する見解を論説いただき、参加者とディスカッションしたいと思います。また大切な症例検討会や発表セッションを、明日からの日常臨床に役立て、研究のヒントにもしていただきたいと思います。

さて皆さん、早速ここ山陰の地で、多いに語り合おうではありませんか！

交通案内

●会場へのアクセス

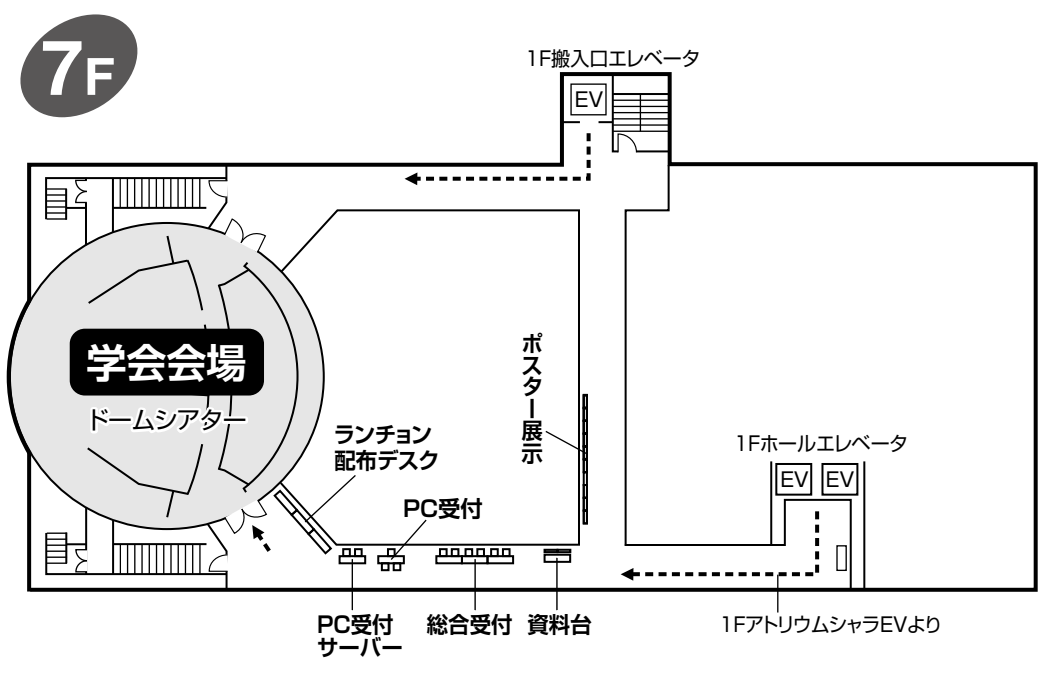
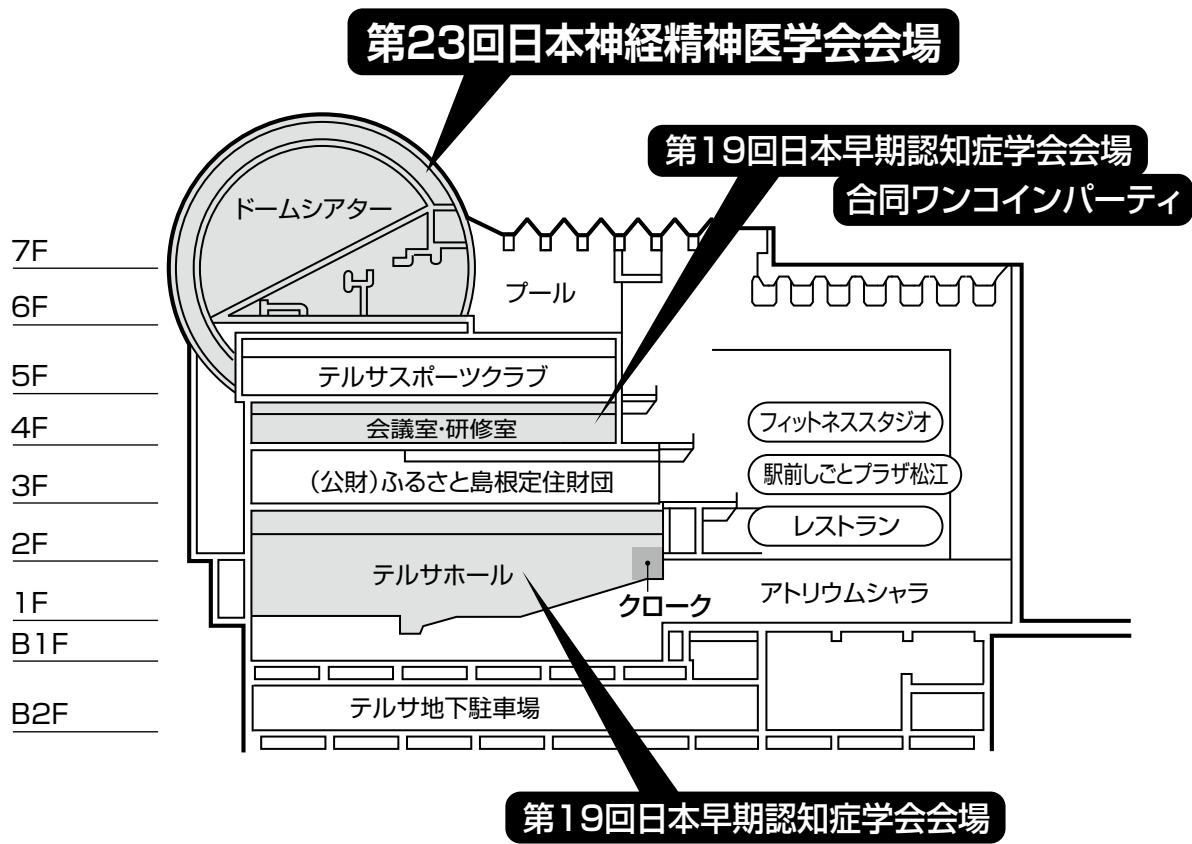
松江テルサ 〒690-0003 松江市朝日町478-18(JR松江駅前)

URL <http://www.sanbg.com/terrsa/>



- JR山陰本線JR松江駅北口から徒歩1分
- 米子鬼太郎空港よりJR松江駅へ 空港連絡バスで約45分
- 出雲縁結び空港よりJR松江駅へ 空港連絡バスで約30分
- 車でお越しの方は会場及び近隣の有料駐車場をご利用ください

会場案内図



学会参加者へのご案内

1. 参加受付

1) 場 所 松江テルサ 7階 ロビー

2) 受付時間 2018年10月6日(土) 8:00～18:00
2018年10月7日(日) 8:00～12:20

3) 参加登録 会員および当日会員 5,000円(抄録集含む)
非 会 員 5,000円(抄録集含まない)
初 期 研 修 医 2,000円(抄録集含まない)
学 生 1,000円(抄録集含まない)

- 今大会では事前登録は行いません。
- 参加受付の際、参加登録票に必要事項をご記入の上、参加費と共に受付へご提出ください。
- お支払いは現金のみです。おつりが要らないようにご準備をお願い致します。クレジットカードはご利用できません。
- 学生の方は、学生証、研修医の方は、初期研修医であることがわかる証明書をご提示ください。
- 参加登録票は学会ホームページからダウンロードできますので、事前に印刷してご持参いただけます。

4) ネームカード

- 受付にて参加費をお支払いの上、ネームカード(参加証明書と領収書を含む)をお受け取りください。
- 会場内では必ずネームカードをご着用ください。

5) プログラム・抄録集の販売

- 受付にて一冊1,000円でご購入いただけます。数に限りがありますのでご了承ください。
- 会員の方には事前にプログラム・抄録集をお送りしております。
- 当日、会員として入会手続きをいただいた方には無料でお渡しいたします。

2. 本部入会受付

1) 場 所 松江テルサ 7階 ロビー

2) 受付時間 参加受付の時間と同じです。

3) 新 入 会

- 一般口演、ポスター発表、症例検討会の筆頭発表者の方には、事前に入会をお願いしております。
- 本学会への新入会を希望される方は、受付にて手続きをお願いします。
- 年会費は5,000円ですが、当日年会費のお支払いは不要です。

(1) 発表者で入会未手続きの方

- 入会申込書をお渡ししますので、必要事項を記載いただき、ご提出をお願いいたします。

- 当日の年会費のお支払いは不要です。
- 大会事務局で取りまとめ、学会事務局へ送付致します。
- 学会事務局より後日、振込用紙が送付されますので直接お振込みをお願いいたします。

(2) 当日参加でご入会の方

入会申込書をお渡ししますので、個々に学会本部へお送りいただき手続きをお願いいたします。

4) 非会員の方

本学会の会員でない方もご参加いただけます。

5) 登録情報変更手続き

- 会員の方で登録情報(住所・所属等)に変更がある場合はお申し出ください。
- 変更手続き用紙をお渡しいたしますので、直接、学会事務局へお送りいただき手続きをお願いいたします。

3. クローク

松江テルサ1階、同時開催の第19回日本早期認知症学会、総合受付付近に合同クロークを設けておりますのでご利用ください。

開設時間 2018年10月6日(土) 8:00～19:10
2018年10月7日(日) 8:00～13:40

4. 会場内のご案内及びお願い

- 発表中の写真撮影、ビデオ撮影、録音は固くお断りいたします。
- 会場内での携帯電話はマナーモードまたは電源をお切りになり、呼び出し音が鳴らないようご協力をお願いいたします。
- 原則として、会場内の呼び出しはいたしません。
- 会場内は禁煙となっております。ご協力をお願いいたします。
- 会場内にはインターネット(無線LANなど)のサービスはございません。

5. 理事会・評議員会・総会

1) 理事会

日時 10月5日(金) 18:30～20:30(学会前日)

会場 松江テルサ 4F 研修室2

〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18(JR 松江駅前)

TEL: 0852-31-5550

◆理事の先生へ学会奨励賞のご投票のお願い

- 学会奨励賞のご投票をお願いいたします。
- 座長、演者の理事の先生は、「座長・演者受付」で参加受付後、投票用紙をお渡しします。

- それ以外の理事の先生には、「総合受付／理事受付」で、参加受付後、投票用紙をお渡しします。
- 一般口演・症例検討会・ポスター発表より、優れた演題につきチェックをしていただき、総合受付に投票用紙をご提出ください。

2) 評議員会・総会

日 時 10月6日(土) 12:05～12:25

会 場 松江テルサ 7階 ドームシアター(学会会場)

6. セミナーのご案内

- 10月6日(土) ランチョンセミナー
- 10月7日(日) モーニングセミナー、ランチョンセミナー
- モーニングセミナーは軽食、ランチョンセミナーは昼食をご用意しております(無料)。多数の方のご参加をお待ちしております。

7. ジョイント企画

本大会では、第19回日本早期認知症学会学術大会と同時開催のジョイント企画として、第23回日本神経精神医学会の参加者は、第19回日本早期認知症学会学術大会のプログラムのうち、一般演題及び懇親会を除いたセッションへ参加が可能です。
プログラムの詳細に関しましては、下記ホームページをご参照ください。

◆第19回日本早期認知症学会学術大会ホームページ

<http://19jsed.com>

8. 合同ワンコインパーティ(懇親会)のご案内

同時開催の第19回日本早期認知症学会と合同開催致します。

- 日 時 10月6日(土) 18:30～19:00(30分)
- 会 場 松江テルサ 4階 大会議室
- 受 付 松江テルサ 7階 ロビー 参加受付、座長・演者受付、理事受付
受付で、参加登録票のワンコインパーティ記入欄にご記入いただき
参加費と共に受付へご提出ください。
- 参加登録票 ホームページからダウンロード可能ですので、事前に印刷してご持参いただけます。
- 参 加 費 500円
- 参加シール 参加受付後、参加シールをお渡ししますので、各自で「学会参加証」に貼り付けてください。

このパーティでは軽食(ドリンクとおつまみ)をご用意いたします。

発表者・座長の方へのご案内

1. 発表者の方へ

1) 学会入会のお願い

一般口演および症例検討の筆頭発表者の方は、学会への入会をお願いいたします。

2) 利益相反 COI に関する提示のお願い

第23回日本神経精神医学会学術集会では、公益財団法人日本精神神経学会専門医制度委員会生涯教育委員会の単位認定を受けております。

すべての発表者の方におかれましては、ご発表時に必ず規定のCOIに関するスライド(またはポスター)の提示が必要です。必ず下記〈COI提示について〉を参照していただき、COIのご提示をお願いします。発表時に口頭での説明は不要です。

〈COI提示について〉

◆COI提示根拠

「日本専門医機構による認定に伴い、COI(conflict of interest)に関して、学術集会等開催時の申告及び演題発表時の開示が必要となりました。発表内容に関連して開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織等の有無につき、当日の発表スライドに必ず明示してください。」(公益社団法人日本精神神経学会単位機材貸し出し依頼の注意事項より抜粋)

◆指定演題または一般演題(口演)発表者の方

該当基準は、日本精神神経学会 HP 掲載の「COI 該当基準」*をご覧ください。

1. 該当なし：タイトルスライドに、COI 該当なしを枠付きで明記してください。
2. 該当あり：スライドの1枚目に、学会指定のCOIスライドを提示してください。

◆一般演題(ポスター)発表者の方

該当基準は、日本精神神経学会 HP 掲載の「COI 該当基準」*をご覧ください。

1. 該当なし：ポスター最下段に「演者COI該当なし」を枠付きで記載してください。
2. 該当あり：ポスター最下段に該当項目を枠付きで記載してください。
表形式でも文章でも結構です。

※「COIの該当基準」 日本精神神経学会のHP(下記リンク先)をご参照ください。

https://www.jspn.or.jp/modules/about/index.php?content_id=22

3) 発表と進行についてのご案内

◆シンポジウム・一般口演・症例検討会、発表者の方へ

(1) 発表方法

- 原則としてパソコンでの発表のみといたします。
- スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間には十分ご注意ください。
- 次演者の方は、発表の10分前までに、次演者席にご着席し待機してください。

(2) 発表機材の環境と動作確認

- 画面の解像度は XGA (1024 × 768 ピクセル) です。
- 会場で用意している PC は Windows7、PowerPoint のバージョンは 2007～2016 です。同環境での動作確認をお願いいたします。

- 発表データは、受付可能なメディアの USB フラッシュメモリー (Windows 限定*)にてお持ちください。
- 特殊なフォントや動画を使用した発表、上記以外の環境を使用しての発表の場合は、ご自身のパソコンの持ち込みをお願いいたします。
- レーザーポインターは演台上に用意してありますので、ご利用ください。

(3) Mackintosh で発表の方

- Mackintosh で発表の方は、ご自身のパソコンをお持ち込みください。また、プロジェクター接続用のアダプターと電源ケーブルも必ずお持ちください。

(4) ご自身のパソコンを持ち込まれる場合の注意事項

- 外部映像出力端子は、ミニ D-sub15 ピンとなります。
- 立ち上げの際にパスワードが必要となるスクリーンセイバー、省電力設定は、あらかじめ解除をお願いします。
- AC 電源アダプターも必ずご用意をお願いいたします。
- 万一、パソコンが不調な場合に備えてデータのバックアップのご用意 (USB メモリー※) もお願いします。
- iPad 等のタブレット端末は使用できません。

(5) 発表データ受付・試写及び注意事項

- 発表者は、ご自身の発表時間の30分前までに7F ドームシアター・ロビーの PC 受付までお越しいただき、試写および登録をお済ませください。
- 発表データのファイル名には演題番号、演題名および発表者のお名前をお入れください。
- メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。

(6) 発表データ受付時間帯

10月6日(土) 8:00~17:05

10月7日(日) 8:00~11:40

(7) 発表持ち時間、進行及び画面送り等について

◆ シンポジウムの発表の方へ

- 一演題あたりの持ち時間は20分です。
- 発表の進行は、座長の指示に従ってください。
- 発表時の画面送りにつきましては、発表者ご自身でお願いします。

◆ 一般口演の発表の方へ

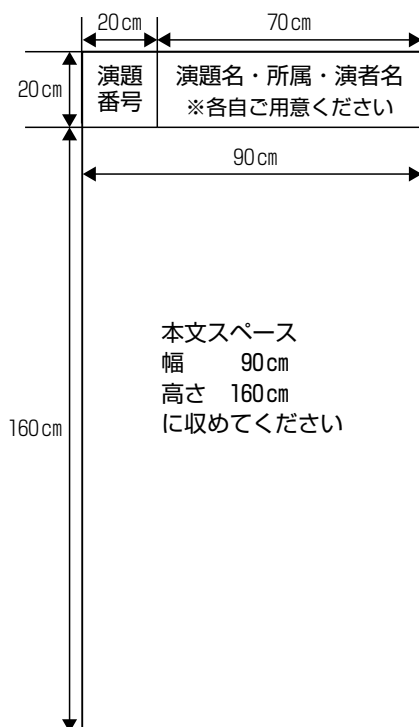
- 一演題あたりの持ち時間は15分(発表10分、質疑応答5分)です。
- 発表、討議の進行は、座長の指示に従ってください。
- 発表時の画面送りにつきましては、発表者ご自身でお願いします。

◆ 症例検討会の発表の方へ

- 持ち時間は70分(発表30分、質疑応答40分)です。
- 発表、討議の進行は、座長の指示に従ってください。
- 発表時の画面送りにつきましては、発表者ご自身でお願いします。

◆ポスター発表の方へ

- ポスター会場の指定されたボードにご提示ください。
- ポスター本文は、横幅90cm×高さ190cmの枠内に収まるようにご用意ください。
- パネルの左上角に演題番号(20cm×20cm)を主催者側で準備いたします。
- 指定された演題番号のパネルに貼付してください。



①ポスター貼付時間

10月6日(土) 10:30まで

- ポスターは、指定時刻までに貼付をお願いします。
- 学会開催中の2日間掲示していただき、決められた時間に撤去をお願いします。

②ポスターセッション

10月6日(土) 14:35～14:45

- ポスターセッションの開始5分前には、各自のポスター前に控えてください。
- ポスターセッションの間は、自由にご討議いただき、質疑に応じてください。

③ポスター撤去時間

10月7日(日) 13:30～14:00

- 撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、事務局が撤去し処分することがありますので、ご承知おきください。

(8) 学会奨励賞について

- 第23回日本神経精神医学会では、研究・発表を推奨し、今後の学会の発展に寄与する人材を育成していくことを目的に、学会奨励賞を設けております。
- 一般口演・症例検討会・ポスター発表の中から2題程度を選出いたします。
- 選出は理事と各担当座長の先生方による投票で決定いたします。
- 表彰は学会2日目の10月7日(日)の閉会式と併せて会場にて行います。

〈閉会式・表彰式〉 10月7日(日) 13:15～13:25

2. 座長の方へ

1) 一般口演の座長の方へ

- ご担当のセッションまでに会場受付にて座長受付をお済ませください。
- ご担当のセッション開始10分前までに、会場内の次座長席にて待機をお願いいたします。
- 発表時間・討議時間の厳守をお願いいたします。

2) 症例検討会の座長の方へ

- ご担当のセッションまでに会場受付にて座長受付をお済ませください。
- ご担当のセッション開始10分前までに、会場内の次座長席にて待機をお願いいたします。
- 発表時間の振り分けは通常の発表とは異なりますので、ご注意ください。

◆学会奨励賞の投票についてのお願い

- 一般口演及び症例検討会の座長の先生におかれましては、学会奨励賞の投票をお願いいたします。
- 座長受付時に投票用紙をお渡しします。
- 一般口演・症例検討会・ポスター発表より、ご自身の担当されたセッションに関わることなく優れた演題につきチェックをしていただき、総合受付に投票用紙をご提出ください。

〈投票締切日時〉 10月7日(日) 11:00まで

3) シンポジウムの座長の方へ

- ご担当のセッションまでに会場受付にて座長受付をお済ませください。
- ご担当のセッション開始10分前までに、会場内の次座長席にて待機をお願いいたします。
- プログラムおよび受付にて事前にご確認のうえ、発表時間・討議時間の厳守をお願いいたします。

1日目 10月6日(土)

松江テルサ 7F ドームシアター

ポスター会場

8:10	8:10~	受付開始	
9:00	8:55~ 9:00~9:45	開会挨拶 一般演題1 O-1-1~O-1-3 器質性精神障害 他 座長：林田 麻衣子	8:30 ↓ 10:30 ポ ス タ ー 貼 付
10:00	9:45~10:30	一般演題2 O-2-1~O-2-3 認知症(1) 座長：長濱 道治	
11:00	10:35~12:00	シンポジウム1 私はこう考える ~神経精神疾患の認知障害~ 座長：兼子 幸一、下村 辰雄 演者：新井 哲明、鈴木 匡子、村井 俊哉	10:30 ↓ 18:25 ポ ス タ ー ビ ュ ー
12:00	12:05~12:25	評議員会・総会	
13:00	12:30~13:30	ランチョンセミナー1 レビー小体型認知症に対する包括的治療 座長：新井 平伊 演者：數井 裕光 共催：大日本住友製薬株式会社	
14:00	13:35~14:35	一般演題3 O-3-1~O-3-4 認知症(2) 座長：松岡 照之、安部 哲史	
15:00	14:50~16:00	症例検討会 座長：谷向 知、金野 竜太 演者：錦織 光、安部 哲史	14:35~14:45 ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン
16:00	16:05~17:30	シンポジウム2 私はこう考える ~レビー小体型認知症の認知機能は本当に変動するのか?~ 座長：鈴木 匡子、田中 稔久 演者：石井 一弘、橋本 衛、清水 徹男	ポ ス タ ー ビ ュ ー
17:00	17:35~18:25	シンポジウム3 私はこう考える ~神経学と精神医学から診たアパシーとうつ病の鑑別と治療戦略~ 座長：米田 博、下村 辰雄 演者：三條 伸夫、川勝 忍	
18:00			
19:00	18:30~19:00	合同ワンコインパーティー (会場：4F 大会議室)	

2日目 10月7日

松江テルサ 7F ドームシアター

ポスター会場

8:00	8:00~ 受付開始	
9:00	8:20~9:20 モーニングセミナー 認知症予防の視点に立つ不眠症管理 座長：林田 麻衣子 演者：朝田 隆 共催：MSD株式会社	8:20 ↓ 13:30 ポ ス タ ー ビ ュ ー
10:00	9:30~10:15 一般演題 4 O-4-1~O-4-3 認知症(3) 座長：和氣 玲	
11:00	10:20~11:00 特別講演 幻視の発現機序 座長：立花 直子 演者：森 悦朗	
12:00	11:05~12:00 シンポジウム 4 私はこちら考える ~前頭側頭葉変性症の早期診断~ 座長：山本 泰司、中川 賀嗣 演者：伊関 千書、數井 裕光	
13:00	12:10~13:10 ランチョンセミナー 2 神経精神領域で役立つ漢方 座長：妹尾 晴夫 演者：宮岡 剛 共催：株式会社ツムラ	
	13:15~13:25 表彰式・閉会挨拶	
14:00		13:30~14:00 ポスター撤去
15:00		

プログラム

1日目 10月6日(土) 松江テルサ 7F ドームシアター

8:55～ **開会挨拶** 会長：堀口 淳(島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座)

9:00～9:45 **一般演題1**

[器質性精神障害 他]

座長：林田 麻衣子(島根大学 医学部 精神医学講座)

O-1-1 自殺企図後逆行性健忘をきたし抑うつ症状が改善した双極性障害の一例 36

○古田 晶子、竹下 佳秀、伊藤 賢伸、中野 祥行、新井 平伊

順天堂大学 医学部 精神医学講座

O-1-2 F60.2非社会性人格障害、F19.2多剤使用及びその他の精神作用物質使用による
精神及び行動の障害、依存症候群による、累犯、強盗傷害、殺人の症例 37

○鈴木 三夫¹⁾、中山 成一¹⁾、石川 雅枝¹⁾、石川 叔男¹⁾、石川 経子¹⁾、
原田 元²⁾、石川 文之進¹⁾

1) 報徳会 宇都宮病院、2) 脳波計量解析研究所

O-1-3 当初 MRI 画像で病変を認めなかった、
てんかんで初発した脳アミロイドアンギオパチー(CAA)の1例 38

○藤本 直¹⁾、二宮 怜子²⁾、河野 兼久³⁾、前田 智治³⁾、宮崎 始⁴⁾

1) 社会医療法人石川記念会 HITO 病院、2) 住友病院、3) 愛媛県立中央病院、
4) 伊予病院 リハビリテーション科

9:45～10:30 **一般演題2**

[認知症(1)]

座長：長濱 道治(島根大学 医学部 精神医学講座)

O-2-1 軽度行動障害(MBI)の頻度、認知症への移行について 39

○松岡 照之、成本 迅

京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

O-2-2 WMS-R の視覚記憶や記憶保持は認知症転化のリスク因子である 40

○三條 伸夫¹⁾、堀 匠²⁾、野崎 優衣¹⁾、吉武 美紀¹⁾、横田 隆徳¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野、
2) 埼玉県総合リハビリテーションセンター 神経内科

O-2-3 高齢者検診受診者の MMSE 下位項目の年次推移からみた
MCI レベルの10年予後：認知症化する群と健常群との相違について 41

○須貝 佑一¹⁾、杉山 智子²⁾、林 邦彦³⁾、松村 康弘⁴⁾

1) 浴風会病院 精神科、2) 順天堂大学 医療看護学部、3) 群馬大学 医学部、4) 文教大学 健康栄養学部

座長：兼子 幸一（鳥取大学 医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野）
下村 辰雄（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

[私はこう考える ～神経精神疾患の認知障害～]

- S-1-1** アルツハイマー病 23
○新井 哲明
筑波大学 医学医療系 臨床医学域 精神医学
- S-1-2** レビー小体型認知症における認知機能障害 24
○鈴木 匡子
東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学
- S-1-3** 統合失調症 25
○村井 俊哉
京都大学 医学研究科 精神医学

12:05～12:25 評議員会・総会

12:30～13:30 ランチョンセミナー1

座長：新井 平伊（順天堂大学大学院 医学研究科 精神・行動科学）

- LS-1** レビー小体型認知症に対する包括的治療 33
數井 裕光 高知大学 医学部 神経精神科学講座 教授

共催：大日本住友製薬株式会社

13:35～14:35 一般演題3

[認知症(2)]

座長：松岡 照之（京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学）
安部 哲史（島根大学医学部附属病院 神経内科）

- O-3-1** 構音障害と不随意運動を伴った前頭側頭葉変性症の1例 42
○内藤 暢茂¹⁾、宮岸 良彰²⁾、北村 立³⁾、三邊 義雄¹⁾
1) 金沢大学附属病院、2) 高岡市民病院、3) 石川県立高松病院
- O-3-2** 精神症状が先行し診断に苦慮した前頭側頭型認知症の一例 43
○三浦 章子¹⁾、堀口 淳²⁾、山下 智子¹⁾、長濱 道治¹⁾、林田 麻衣子¹⁾、
岡崎 四方¹⁾、和氣 玲¹⁾、橋岡 禎征¹⁾、宮岡 剛¹⁾、稲垣 正俊¹⁾
1) 島根大学 医学部 精神医学講座、2) 島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座

- O-3-3** FTLD-MNDにおけるドーパミン神経機能異常
 ー ドパミントランスポーターイメージングを用いた検討ー 44
 ○小林 良太¹⁾、林 博史¹⁾、川勝 忍²⁾、大谷 浩一¹⁾
 1)山形大学 医学部 精神医学講座、2)福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座
- O-3-4** 衝動性や攻撃性のため精神科入院となった男性高齢者の二例 45
 ○山下 真、神川 繁利、北村 真希、北村 立
 石川県立高松病院

14:50～16:00 **症例検討会**

座長：谷向 知(愛媛大学大学院 医学系研究科 地域健康システム看護学講座)
 金野 竜太(昭和大学 医学部 内科学講座神経内科学部門)

- SY** 認知症との鑑別を要した、修正型電気痙攣療法が著効したうつ病の一例 62
 ○錦織 光¹⁾、○安部 哲史²⁾、大拙 孝治¹⁾、三浦 章子¹⁾、山下 智子¹⁾、
 長濱 道治¹⁾、林田 麻衣子¹⁾、橋岡 禎征¹⁾、宮岡 剛¹⁾、稲垣 正俊¹⁾
 1)島根大学 医学部 精神医学講座、2)島根大学医学部附属病院 神経内科

16:05～17:30 **シンポジウム2**

座長：鈴木 匡子(東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学)
 田中 稔久(大阪大学大学院 医学系研究科 情報統合医学講座・精神医学教室)

[私はこう考える ～レビー小体型認知症の認知機能は本当に変動するのか?～]

- S-2-1** 身体症状と認知機能変動の関連について 26
 ○石井 一弘
 筑波大学 医学医療系 神経内科学
- S-2-2** DLBの精神症状が認知機能変動に及ぼす影響について 27
 ○橋本 衛
 熊本大学大学院 生命科学研究部 神経精神医学分野
- S-2-3** 睡眠との関連 28
 ○清水 徹男
 秋田県精神保健福祉センター

座長：米田 博(大阪医科大学 医学部 総合医学講座 神経精神医学教室)
下村 辰雄(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)

[私はこう考える ～神経学と精神医学から診たアパシーとうつ病の鑑別と治療戦略～]

S-3-1 認知症におけるアパシーとその治療 29

○三條 伸夫

東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野(神経内科)

S-3-2 精神医学的視点から
前頭側頭葉変性症におけるアパシーとうつ状態 30

○川勝 忍¹⁾²⁾、小林 良太²⁾、林 博史²⁾、大谷 浩一²⁾

1) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座、2) 山形大学 医学部 精神科

18:30～19:00 合同ワンコインパーティー (会場：4F 大会議室)

- P-1** 非鎮静系抗精神病薬2剤を併用して症状寛解を得た老年期妄想性障害の1症例 49
 ○幸田 文男¹⁾、西本 雅彦¹⁾、三浦 賢吾¹⁾、若田部 博文²⁾、富山 恵一郎¹⁾、
 関口 潔¹⁾、米村 薫人¹⁾、黒岩 隆¹⁾
 1)医療法人青木末次郎記念会 相州病院、2)医療法人青木末次郎記念会 あいかわ心療クリニック
- P-2** 精神運動興奮を繰り返した無セルロプラスミン血症の一例 50
 ○金山 三紗子、錦織 光、林田 麻衣子、橋岡 禎征、宮岡 剛、稲垣 正俊
 島根大学 医学部 精神医学講座
- P-3** 多彩な精神症状を呈した原発性副甲状腺機能亢進症の一例 51
 ○大拙 孝治、三浦 章子、山下 智子、長濱 道治、林田 麻衣子、橋岡 禎征、
 宮岡 剛、稲垣 正俊
 島根大学 医学部 精神医学講座
- P-4** 意味記憶障害で始まり、経過中に視空間認知機能の低下を呈し、
 MRI上DESH所見が認められた1例 52
 ○渡辺 亮平、越部 裕子、東 晋二、新井 哲明
 筑波大学 医学医療系 精神医学
- P-5** 高次脳機能障害プロフィール解釈の半自動化の試み 53
 ○上田 敬太¹⁾、生方 志浦²⁾、村井 俊哉¹⁾
 1)京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
 2)京都大学大学院 医学研究科 メディカルイノベーションセンター SKプロジェクト
- P-6** ラマン分光法によるアミロイドβタンパク質の分析 54
 ○中田 開人¹⁾、藤田 恭久²⁾、長井 篤³⁾、Abdullah Md Sheikh³⁾
 1)島根大学 総合理工学部 機械・電気電子工学科、
 2)島根大学 大学院自然科学研究科 物理・マテリアル工学コース、3)島根大学 医学部 臨床検査医学
- P-7** クロイツフェルト・ヤコブ病患者が総合病院入院中に不穏状態を呈し、
 単科精神科病院転院依頼時の病院間連携 55
 ○飛田 憲彦、小村 文明
 島根県立こころの医療センター
- P-8** レム睡眠行動障害に対してramelteonが有効であった2症例 56
 ○河野 公範¹⁾、長濱 道治¹⁾、伊豆原 宗人¹⁾、三浦 章子¹⁾、宮岡 剛¹⁾、
 稲垣 正俊¹⁾、堀口 淳²⁾
 1)島根大学 医学部 精神医学講座、2)島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座

- P-9** 自発性低下に対してガラントミンが有用と思われた
アルツハイマー型認知症の1症例 57
- 長濱 道治¹⁾、河野 公範¹⁾、三浦 章子¹⁾、山下 智子¹⁾、林田 麻衣子¹⁾、
岡崎 四方¹⁾、橋岡 禎征¹⁾、宮岡 剛¹⁾、稲垣 正俊¹⁾、堀口 淳²⁾
- 1) 島根大学 医学部 精神医学講座、2) 島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座
- P-10** 電気けいれん療法のレヴィー小体型認知症に対する効果の検討 58
- 伊豆原 宗人¹⁾²⁾、橋岡 禎征¹⁾、三浦 章子¹⁾、山下 智子¹⁾、大舘 孝治¹⁾、
長濱 道治¹⁾、林田 麻衣子¹⁾、宮岡 剛¹⁾、稲垣 正俊¹⁾、堀口 淳³⁾
- 1) 島根大学 医学部 精神医学講座、2) 恵和会 石東病院、
2) 島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座
- P-11** 透析導入後より幻視、妄想を伴うようになった
レヴィー小体型認知症にプロナンセリンが有効であった1例 59
- 松尾 諒一、山梨 豪彦、岩田 正明、兼子 幸一
- 鳥取大学 医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野
- P-12** 老年期うつ病が疑われたレヴィー小体病の1例 60
- 松田 泰行¹⁾、長濱 道治¹⁾、三浦 章子¹⁾、山下 智子¹⁾、河野 公範¹⁾、
林田 麻衣子¹⁾、橋岡 禎征¹⁾、宮岡 剛¹⁾、稲垣 正俊¹⁾、堀口 淳²⁾
- 1) 島根大学 医学部 精神医学講座、2) 島根大学 医学部 免疫精神神経学共同研究講座
- P-13** 意味性認知症と自閉症スペクトラムは本当に似ているのか? 61
- 佐久田 静¹⁾、兼田 桂一郎²⁾、石川 智久¹⁾、福原 竜治¹⁾、橋本 衛¹⁾
- 1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 神経精神医学分野、2) くまもと青明病院

8:20~9:20 **モーニングセミナー**

座長：林田 麻衣子(島根大学 医学部 精神医学講座)

MS 認知症予防の視点に立つ不眠症管理 35

朝田 隆 東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 認知症研究部門 特任教授
メモリークリニックお茶の水 理事長

共催：MSD 株式会社

9:30~10:15 **一般演題4**

[認知症(3)]

座長：和氣 玲(島根大学 医学部 精神医学講座)

O-4-1 潜在した夜間低血糖により慢性的な健忘症を呈し、若年性認知症が疑われた1例 46

○伊関 千書、鈴木 佑哉、佐藤 大祐、石井 康大、猪狩 龍佑、佐藤 裕康、
小山 信吾

山形大学 医学部 内科学第三講座

**O-4-2 認知症症状を示し、硬膜下血腫、糖尿病をもつロボットミ―術後の
初診時76歳の統合失調症の一女性例** 47

○石川 文之進¹⁾、中山 成一¹⁾、鈴木 三夫¹⁾、石川 雅枝¹⁾、手塚 英夫¹⁾、
中村 正明¹⁾、原田 元²⁾

1) 報徳会 宇都宮病院、2) 脳波計量解析研究所

**O-4-3 Preclinical な、MRI 画像、IMP-SPECT 画像、
神経心理検査結果を得ることができた、Dementia with Lewy Bodies の一例** 48

○阪井 一雄¹⁾、松山 賢一²⁾、山本 泰司³⁾

1) 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科、2) 甲南会 甲南病院 精神科、

3) 神戸大学 保健管理センター(医学研究科病態情報学)

10:20~11:00 **特別講演**

座長：立花 直子(関西電力病院 睡眠関連疾患センター)

幻視の発現機序 22

森 悦朗 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学寄附講座
東北大学 名誉教授

座長：山本 泰司(神戸大学保健管理センター)
中川 賀嗣(北海道医療大学 リハビリテーション科学部)

[私はこう考える ～前頭側頭葉変性症の早期診断～]

S-4-1 神経学的視点から 31

○伊関 千書

1)山形大学 医学部 内科学第三講座(神経学分野)

S-4-2 精神医学的視点から 32

○数井 裕光

高知大学 医学部 神経精神科学講座

12:10～13:10 ランチョンセミナー2

座長：妹尾 晴夫(医療法人青葉会 松江青葉病院)

LS-2 神経精神領域で役立つ漢方 34

宮岡 剛 島根大学 医学部 精神医学講座 准教授

共催：株式会社ツムラ

13:15～13:25 表彰式・閉会挨拶 会長：堀口 淳(島根大学医学部 免疫精神神経学共同研究講座)

抄 録

幻視の発現機序

森 悦朗

大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座
東北大学 名誉教授

認知障害すなわち機能の脱落、陰性症状は、幻覚や妄想すなわち陽性症状とは区別され、前者がそのまま後者をもたらすということはない。しかし器質性疾患の場合、認知障害が幻覚や妄想の発現に、少なくとも部分的には関わっているだろうということは容易に推測できる。幻視は器質性疾患に出現することが多く、以前より認知障害、あるいは脳損傷との関係が深いことが想定されている。盲視野内に出現する幻視や Charles Bonnet syndrome における幻視は感覚遮断との関係が議論されている。この講演ではまずはじめに、脳損傷と幻視との関係、認知障害と幻視との関係をレビューする。

次いで、レビー小体型認知症 (DLB) とパーキンソン病 (PD) における幻視をとりあげ、我々が行ってきた一連の研究について紹介する。DLB と PD は α シヌクレインの凝集物で構成されるレビー小体が神経細胞内に出現する疾患で、レビー小体病 (LBD) と括られる。前者では繰り返す幻視が特徴的であり、後者にも幻視が高頻度にみられる。LBD は幻視の原因としておそらく最も頻度が高く、幻視発現の神経基盤の研究には最適な対象である。LBD では視知覚障害をはじめとする認知障害が存在し、幻視発現の必要条件となっている可能性がある。しかし、認知障害の存在だけで幻視発現の十分条件になっているとは考えられない。一方、LBD ではドパミン系、コリン系をはじめとする複数の神経系が障害されている。それらの異常が幻視の発現にどのように関与しているかを分析することも必要であろう。幻視は主観的現症であるので、その客観的評価は困難であるが、パレドリアという幻視に類似した錯視を幻視代理尺度として、LBD に適用して認知障害との関係や、機能画像を用いた関連脳部位の検討を行ってきたので、認知障害と幻視との関係、幻視発現のメカニズムについて論じる。

協賛一覧

アステラス製薬株式会社

エーザイ株式会社

MSD 株式会社

大塚製薬株式会社

第一三共株式会社

大日本住友製薬株式会社

武田薬品工業株式会社

株式会社ツムラ

株式会社日本文化科学社

ノバルティスファーマ株式会社

MeijiSeika ファルマ株式会社

(五十音順)

第23回日本神経精神医学会学術集会の開催、運営にあたりまして多くのご協賛をいただきました。ここに謹んで御礼申し上げます。また、今回の学会開催にあたりまして、ご協力いただきました様々な教室、医療機関の皆様にも、謹んで御礼申し上げます。

次回学術集会のご案内

- 名 称 **第24回日本神経精神医学会学術集会**
The 24th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association
- 会 長 **川勝 忍**(福島県立医科大学会津医療センター 精神医学講座)
- 会 期 **2019年10月25日(金)～26日(土)**(予定)
- 会 場 **山形テルサ**(山形市)

第23回日本神経精神医学会学術集会 プログラム・抄録集

頒布価格：1,000円

発 行 日：2018年9月3日

会 長：堀口 淳

事 務 局：島根大学医学部精神医学講座
〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

運営事務局：有限会社 アクティブ・プロ
〒683-0851 米子市夜見町1895-3
TEL：0859-48-0700 FAX：0859-48-0600
E-mail：jna23@act-p.net

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<http://www.secand.jp/>

■ **第23回 日本神経精神医学会学術集会 事務局**

島根大学医学部精神医学講座

事務局長：長濱 道治

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

TEL: 0853-20-2262 FAX: 0853-20-2260

■ **運営事務局**

有限会社 アクティブ・プロ

〒683-0851 米子市夜見町1895-3

TEL: 0859-48-0700 FAX: 0859-48-0600

E-mail: jna23@act-p.net